

ビブリオ川柳、作ってみたいけど…



作ってわかったコツあれこれ

🌀 作れそうで作れません…



名作からはじめてみよう！



好きな作品で作ろうとして、うまくいかないことがあります。簡単に作れそうですが、本の内容を思い出さないと意外に作りにくいのです。

初めて作る時、学校の教科書に載っていたような、例えば、夏目漱石や森鷗外、芥川龍之介等のいわゆる名作・古典の有名な作品を対象にしてみてもいいでしょうか？名作には、作りやすい点がいくつかあります。

- ①自分が、本の内容をだいたい覚えている。
- ②共通認識があるので、他の人にも作品が通じやすい。
- ③現代から見ると、ツッコミどころが結構ある。

何か引かかる、腑に落ちない、と思う名作を五・七・五にしてみませんか。

この本が いいよと君が 言ったから —『サラダ記念日』記念日
(『サラダ記念日』 俵万智)

※掲載したビブリオ川柳は、図書館職員の作品です。



五・七・五文字になりません…



キーワードを書き出してみよう！

まずは、言葉をいろいろ書き出してから、文字数を減らす、前後を替える、別の言葉を探す、ふりがなをふるなどの調整していくのが作りやすいように思います。不自然でなければ、少しくらい字余りがあってもいいと思います。

はないくさ
花 関ヶ原 津軽信枚は 果報者 —梅花繚乱
(『津軽双花』 葉室麟著)



応募用紙の作品欄にある棒線は何のためにあるの？



オチとして、補助として使ってください！

新聞の読者欄などにある、短い言葉で風刺をする小さいコラムのような欄を思い浮かべてください。一言キレのある言葉やとぼけた言葉を言った後に、ペンネームとして添えられた単語でさらに面白さが増すものが多いと思います。

ビブリオ川柳でも、五・七・五の後にさらに一言その川柳に対するペンネームを添えることで、より面白くなったり、わかりやすくなったり、オチが効いたりするかもしれないと思い、応募用紙に棒線を加えました。使わなくても構いません。

※作品を作った人としてのペンネームは、ペンネーム欄にご記入ください。

ハそくりが どんどんどん 消えていく —不安しかない
(『老後の資金がありません』 垣谷 美雨)



作品例



15分 一期一会のドラマ生み

―元今津線ユーザー―

『阪急電車』(有川浩 著)

温暖化 トンネル抜けても 雪がない

『雪国』(川端康成 著)



ときめいて 片づけ本が 増えていく

『人生がときめく片づけの魔法』(近藤麻理恵 著)



「本読んで 詠んでみよう 川柳を」
ビブリオ川柳
詠み方のすゝめ

2026.7

枚方市立中央図書館
4階一般書フロア

〒573-1159 車塚2丁目1-1

電話:050-7105-8141

FAX:072-851-0962

E-mail:toshokan1@city.hirakata.osaka.jp